



カメラ
をお忘れなく!
大迫力の面白写真が
撮り放題!



ふしぎの迷宮!

in 大丸心齋橋店

トリックアート展

2015 2/11(水祝) → 3/16(月)

会場 大丸心齋橋店
北館14階 イベントホール

■ 入場時間: 午前10時 → 午後7時30分 (午後8時閉場)
※最終日は午後5時30分まで (午後6時閉場)

【ご優待サービス】 ※ () 内は前売および10名様以上の団体。
DAIMARU CARD、マツザカヤカード、さくらバンダカード、大丸松坂屋
友の会カード、プライダルサークル会員証をお持ちの方のご優待料金です。

■ 入場料(税込)

【プレイガイド】 ローソンチケット [Lコード: 56359] (ローソン・ミニストップ設置Loppi)
前売券発売期間 2014年12月17日~2015年2月10日

一般	当日 800円 (700円)
大高中生	当日 500円 (400円)
小学生・幼児	当日 300円 (200円)

主催: トリックアート展 in 大丸心齋橋店 実行委員会
後援: 大阪市、大阪市教育委員会、テレビ大阪
企画制作: プランニングオフィスS.M.S 作品提供: エス・デー

*3歳以下無料/小学生・幼児以下の単独入場はお断りします

あなたが主役の「体験型アート」!

トリックアートの楽しみ方

トリックアートは、人間の目の錯覚を利用して、絵が立体的に見えたり、見る角度によって異なる印象になったりする「体感型アート」です。そんなアートの楽しみ方をご紹介します。



その①「写真を撮る」

作品の前でどんなポーズを取るか、主役はあなたです!



その②「見る角度を変える」

右から見ると…左から見ると…あれ、スタイルが変わってる!?



その③「錯覚を体感する」

?>



部屋に入ると…大きくなれたり、小さくなれたり。錯覚の世界をたのしんじゃおう!



「オモシロ写真」撮影のコツ

トリックアート作品は皆さんが参加して初めて完成する体験型のアートです!!
皆さんのアイデアで世界に1つだけの「オモシロ写真」を撮ってください。上手な写真を撮るコツをご紹介します。

① 写真を撮る位置に注意しましょう

作品はフラッシュの光を反射しやすくなっているのです。斜めの位置から撮ってきましょう。

平面の作品の場合



床や角を使った作品の場合



② 手ぶれを防止しましょう

せっかくの写真もピンボケでは悲しいですよね。しっかり固定して、フォーカスを合わせて撮影しましょう。フィルムカメラをお使いの方は、必ず「フラッシュ撮影」を。デジタルカメラなどの高感度カメラをお使いの方は「ナイトモード」や「フラッシュOFF」など、最適な設定を探してみましょう。

③ とにかく楽しく遊びましょう!

ちょっと大変な姿勢でも、頑張っているんなポーズに挑戦しましょう。トリックアートの世界に入るためにはリアルな演技が重要です。恥ずかしがらずに、あなただけの「オモシロ写真」を撮ってください!

作者紹介



すべての作品は彼らの手によってできあがっている!

作品を提供するのは、世界初のトリックアート美術館を生み出した株式会社エス・デー。「美術館は、一部の人達のものではない。絵心のある人もない人も、そして大人も子供も、誰もが楽しめるようなもっと身近なものであるべきだ。」という信念のもとに、トリックアートの第一人者である故 剣重和宗氏が設立した芸術家集団です。専門の直営店のほか、全国各地、そして世界でトリックアートを発信し続けています。



故 剣重和宗



神山宣耀



小松孝晃



仲村渠広史



斎藤高志



工藤将人



佐藤宏史



赤塚博文



野村敦子